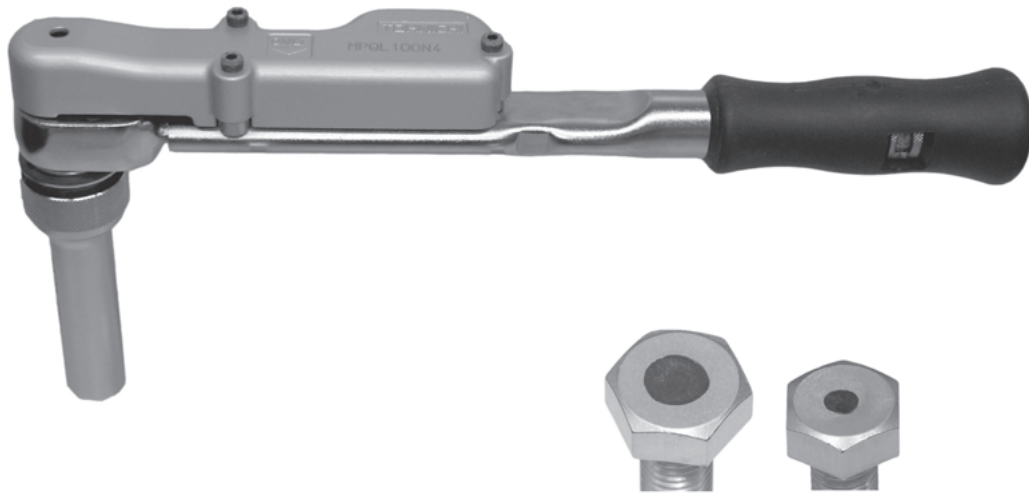


東日マーキングトルクレンチ ポカヨケトルクレンチ

MARKING TORQUE WRENCH

取扱説明書 OPERATING INSTRUCTION

MPQL・MPQL4・MQL・MQSP型 **Model MPQL**



本取扱説明書のMPQL・MPQL4・MQLは、2010/9/21以降に生産・販売された改良モデル用です。2010/9/20以前の機種とは、トルクレンチ本体以外は異なります。

本取扱説明書のソケット・マーカークラップは2016/5/21以降に生産・販売された改良モデルです。2016/5/20以前の機種とは異なります。詳しくはP.22をご参照ください。

本製品を正しく安全にご使用いただく為に、ご使用に先立ち本取扱説明書を必ず熟読し、ご不明の点がありましたら、販売店又は東日へご連絡下さい。

Contents

■ 目次

1. 安全のために	2
2. 特長／構成	4
3. 使用方法	5
3.1 トルク値をセットする	
3.2 ソケットにマーカ―を装置する	
1) マーカ―へのインク <small>の</small> 補充	
①マーカ―ヘッド MK53RB (No.1780・No.2780)	
②マーカ―ヘッド MK93RB (No.2783)	
③マーカ―ヘッド MK53WY (No.1782・No.2782) 、MK93WY (No.2785)	
3.3 マーカ―のセット方法	13
3.4 ソケット部を本体に取り付ける	14
3.5 マーカ―位置の調整方法	16
3.6 ソケットの噛みこみ解除	17
4. オプション	
4.1 ソケット	18
4.2 エクステンションバー	19
4.3 MQSPアダプタ	19
4.4 トルク調整工具 (MQSP用)	19
4.5 マーカ―ヘッド	19
4.6 補充インク、溶剤	20
4.7 プッシュフェルト	20
4.8 マーカ―ガイド	20
5. 仕様	21
6. 旧ソケットと旧マーカ―ヘッドについて	22
6.1 旧ソケットで新マーカ―ヘッド (No.2780・2782・2783・2785) をご使用になる場合	22
6.2 新ソケットで旧マーカ―ヘッド (No.1780・1782・1783・1785) をご使用になる場合	23
6.3 旧ソケットで旧マーカ―ヘッド (No.1780・1782・1783・1785) をご使用になる場合	23

1 安全のために

警告

1.ねじの締め付け以外は使わない

本製品は、ボルト締め付け用トルクレンチです。

2.握り部に、油・グリス……等が付着していないこと

締め付け中に手が滑り事故やけがの原因になります。

3.亀裂・傷・錆が発生していないか確認する

破損が生じ事故やけがの原因になります。

点検・修理を受けて下さい。

4.高所での締め付け作業には使用しない

トルクレンチやソケットを落下させると、重大な事故やけがの原因になります。

5.パイプなどを用いてハンドル部を長くして使用しない

トルクレンチの破損や精度異常の原因となります。

注意

1.トルクレンチに手力を加えるときは、弾みをつけたり、体重をかけたり足で踏み付けない

破損やボルトからの外れで、事故やけがの原因になります。

2.メモリの最大トルク以上で使用しない

破損による事故やけがの原因になります。

3.トルクレンチにピンの抜けや目盛板が無い等、欠品があるものは使用しない

お買い求めの販売店、又は弊社に問い合わせ必ず点検や修理を受けて下さい。

4.トルクレンチの改造はしない

改造による強度不足や精度異常が生じ、事故やけがの原因になります。

5.トルクレンチを落下させたり、強い衝撃を与えたりしない

破損や変形が生じ、精度の劣化や耐久性が低下し、事故やけがの原因になります。

6.大型のトルクレンチを持って向きを変える時は、周囲に気を付ける

事故やけがの原因になります。

7.トルクレンチを立てて置かない

トルクレンチが倒れたり、落ちたりすると事故やけがの原因になります。

8.トルクレンチの修理部品は東日指定部品以外使用しない

トルクレンチの修理をする場合は、お買い求めの販売店、又は弊社に問い合わせ、必ず東日指定部品を使用して下さい。

使用上の注意

- 1.トルク目盛以外で使用しないで下さい
- 2.目盛は最小目盛値より下げないで下さい
- 3.使用前に必ずトルクセットして下さい
出荷時は最低目盛になっています。
- 4.トルク単位を間違えないように確認する
トルク単位を確認してから使用して下さい。
- 5.トルクレンチは水中や海中で使用しない
内部構造に劣化が生じ、事故やけがの原因になります。
もしトルクレンチを水中や海中に落としてしまったら、点検や修理を受けて下さい。
- 6.高所での締め付け作業では、落下防止の処置をする
トルクレンチやソケットを落下させると、重大な事故やけがの原因になります。
- 7.ソケットは、ボルトの六角対辺に合ったものを使う
ソケットとボルトの六角対辺が合わないものを使用すると、事故やけがの原因になります。
- 8.有効長線上を握ってトルクをかけて下さい
有効長上を握らないと正しいトルク値が得られません。
- 9.「カチン」音がしたら締め付けをやめて下さい
更に加えるとオーバートルクとなります。
- 10.トルクレンチを作動する時、周りのものに手やひじ等をぶつけない
トルクレンチを作動する時、周りのものに手やひじ等をぶつけないように注意して下さい。
- 11.トルクレンチをハンマーや、てこの代わりに使用しない
ヘッドやチューブが変形すると作動不良を起こし、精度に悪影響を及ぼします。
- 12.定期点検を必ず受ける
トルクレンチは定期点検が必要です。
- 13.力の方向
力の方向はトルクレンチに直角に。
上下左右とも±15° 以内にする。
- 14.使用後は、ゴミ・ホコリ・ドロ・油・水分等の汚れを取り除いて保管して下さい
汚れがついたまま保管すると、作動不良、精度不良の原因となります。
- 15.長期間使用しない場合は、最低目盛に設定し防錆油を塗布し、乾燥した場所に保管する
保管方法が悪いと、精度劣化や耐久性の低下が早まります。

2 特長／構成

特長

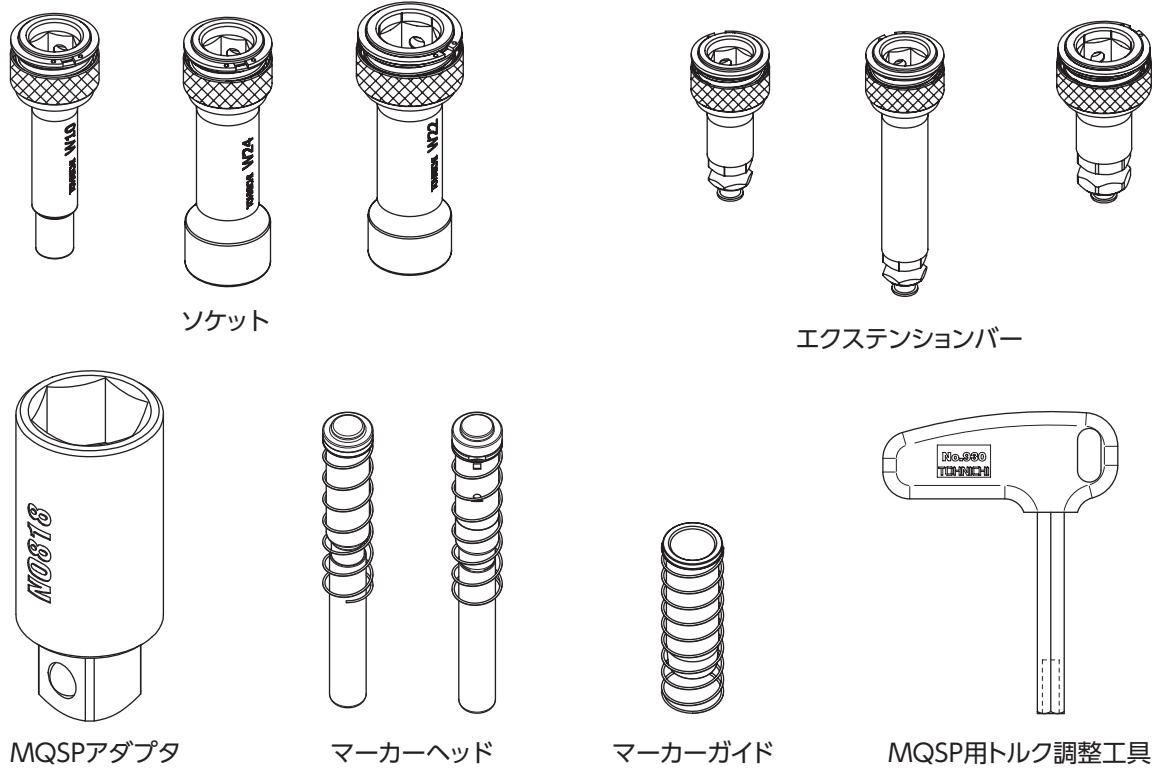
- 設定トルクに達しない限りマーキングしません
- スタンプ部のマーカークヘッド (MK53RB、MK93RB) を改良し、約2週間キャップを付け忘れても乾燥しません
- 速乾性不滅インクでマークが消えません
- 赤インク (No.1770) ・青インク (No.1771) も改良し、マーカークヘッドが凝固し難くなっております
- マーカークヘッドの種類が多い4色 (赤、青、黄、白) 、マーク径5mm、9mmがあります
- マーカークヘッドがワンタッチで交換できます
- 1回のインク補充で従来品の約1.5倍のマーキング回数 (MK53タイプは約4500回、MK93タイプは約6000回) と増えました
- 単能形のMQSPシリーズ (MQSP50N3～MQSP200N4) まで4機種もあります。

構成

- 1.本体……………1台
- 2.六角棒レンチ……………1個
 ※マーカークヘッドの出代調整用です。
 (MPQL型はトルク調整にも使用します)
- 3.取扱説明書……………1冊

オプション

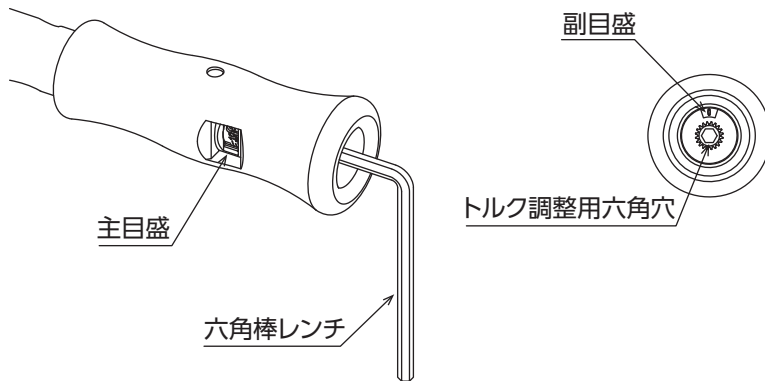
- ・ ソケット
- ・ エクステンションバー
- ・ MQSPアダプタ
- ・ MQSP用トルク調整工具
- ・ マーカークヘッド
- ・ 補充インク、溶剤
- ・ プッシュフェルト
- ・ マーカークガイド (セット)



3 使用方法

3.1. トルク値をセットする

1) 付属の六角棒レンチをトルク調整用穴に差込む (MPQL)



2) 六角棒レンチを回してトルクをセットする (主目盛+副目盛)

■MQSPのトルクセット方法

1) 本体後部の六角穴に調整工具を差し込む。

注) 調整工具は別売品です。(一般の六角棒スパナでは調整できません。)

2) 差し込んだ調整工具を回し、トルクレンチテスト (DOT・DOTE・TF) で調整しトルクを合わせます。

調整工具を時計方向に回すと、トルク値が上がり、反時計方向に回すと、トルク値が下がります。



*プリロック機構の採用で、トルクセット後のロックは必要ありません。

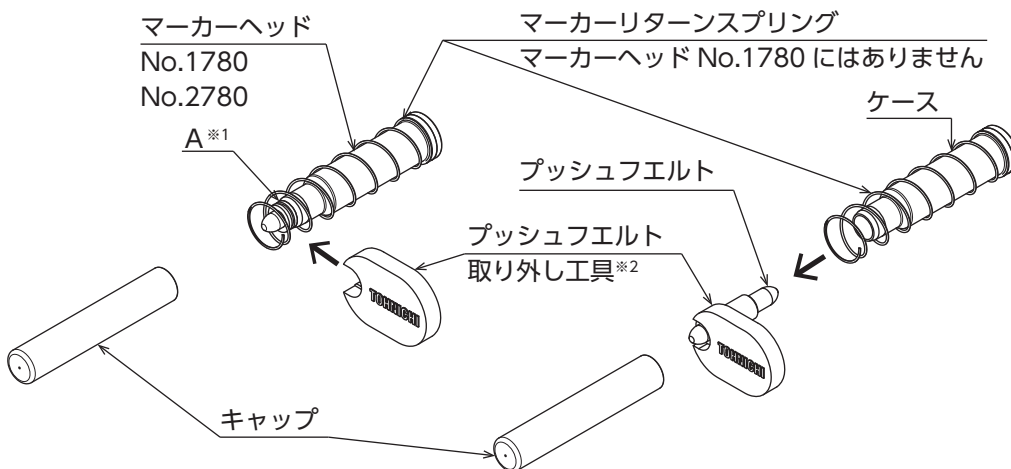
3.2. ソケットにマーカークを装着する

1) マーカーへのインクの補充

① マーカーヘッドMK53RB (No.1780・2780)

a. マーカーヘッドからキャップとプッシュフェルトを外す。

A部にプッシュフェルト取り外し工具をしっかりと奥まで差込んで印面をゆっくりと抜いて下さい。

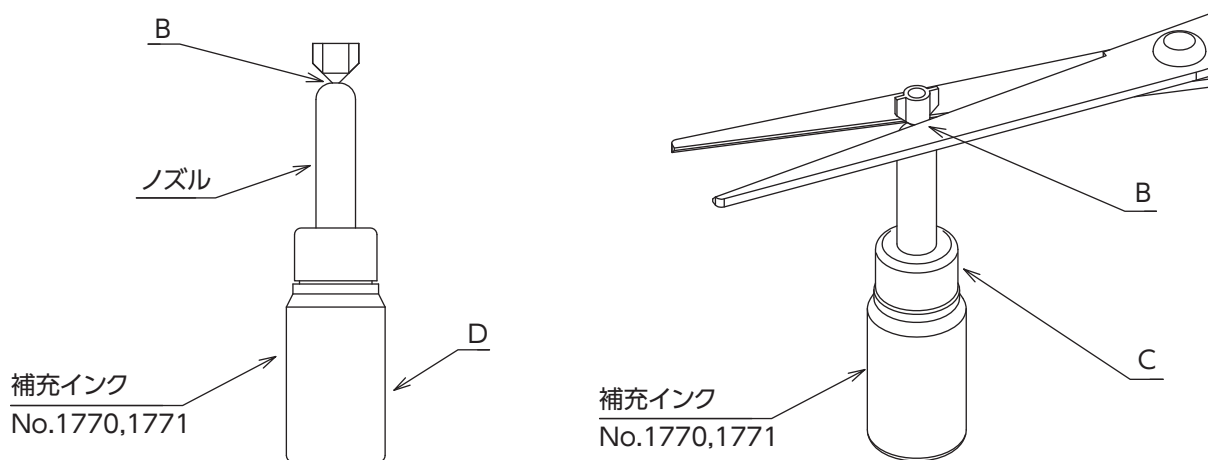


※1 : No.2780マーカーヘッドのA部にプッシュフェルト取り外し工具を差し込む場合は、マーカーリターンコイルを圧縮方向へ押し上げ、A部を露出させて行って下さい。

※2 : No.1770・No.1771の補充インクに付属。

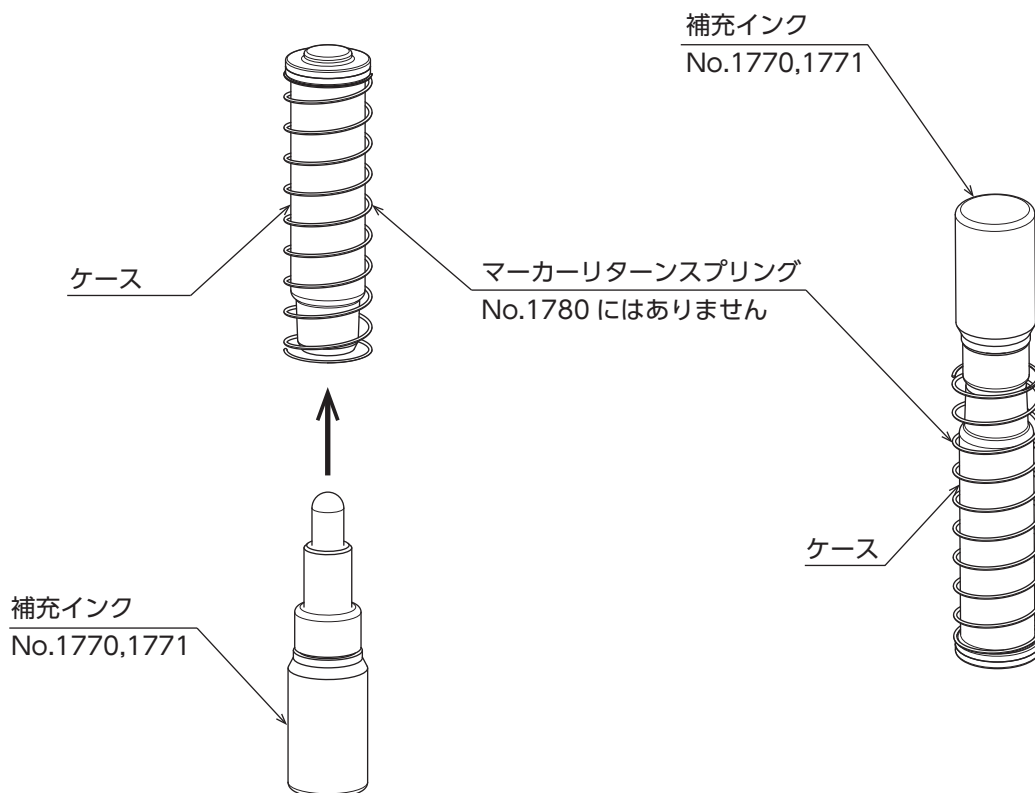
b. 補充インクの先端を切断して下さい。

先端を上向きにしてノズルにインクがたまった場合は指ではじき落とした後、C部を持ってくびれたB部をハサミでゆっくりと切して下さい。



c. 補充インクのケースに差込んでインクを補充して下さい。

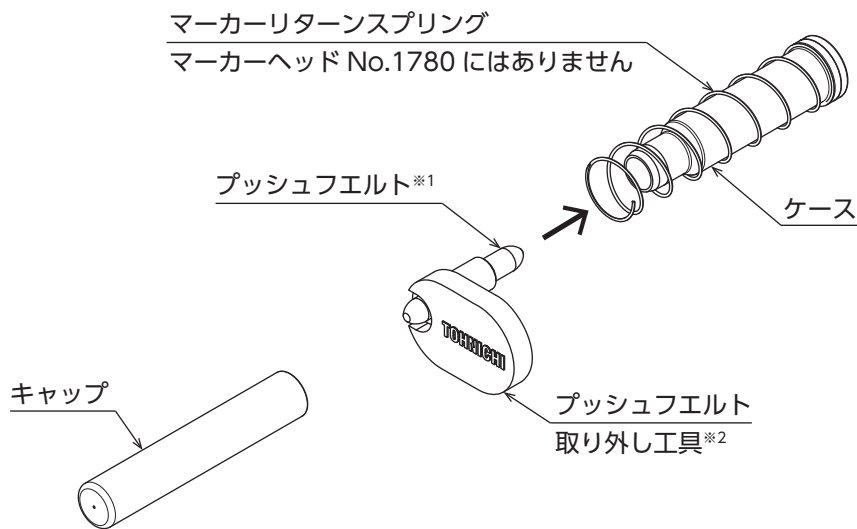
補充インクをゆっくりケースに根元まで差込んで補充インク容器のD部をゆっくりと押さえて1本分のインクを全て補充して下さい。補充後はインクで汚さない様にゆっくりとケースから抜いて下さい。



d. プッシュフェルトとキャップを差込んで下さい。

プッシュフェルトをケースの奥までしっかりと差込んでください。キャップも元通りに取り付けて下さい。取り付け後にプッシュフェルト取り外し工具を外してください。

※ 横向きにして5分間静置後、試し押しをしてからご使用下さい。



※ 1 : No.2780マーカークヘッドにプッシュフェルトを差し込む場合、マーカーターンスプリングに引っ掛からない様に注意して下さい。

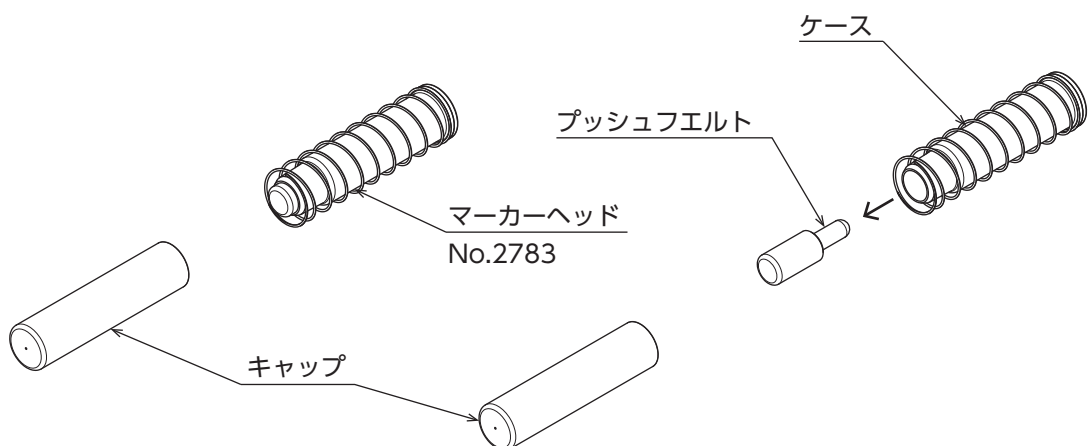
※ 2 : No.1770・No.1771の補充インクに付属。

注意

インクが目に入らぬよう十分に注意して下さい。
 インクを多く入れすぎた場合は、ウエスや紙で拭き取って下さい。
 インクが衣服類に飛ばないようにして下さい。
 プッシュフェルトの取り付け方向にご注意ください。
 (P20の注意をご覧下さい)

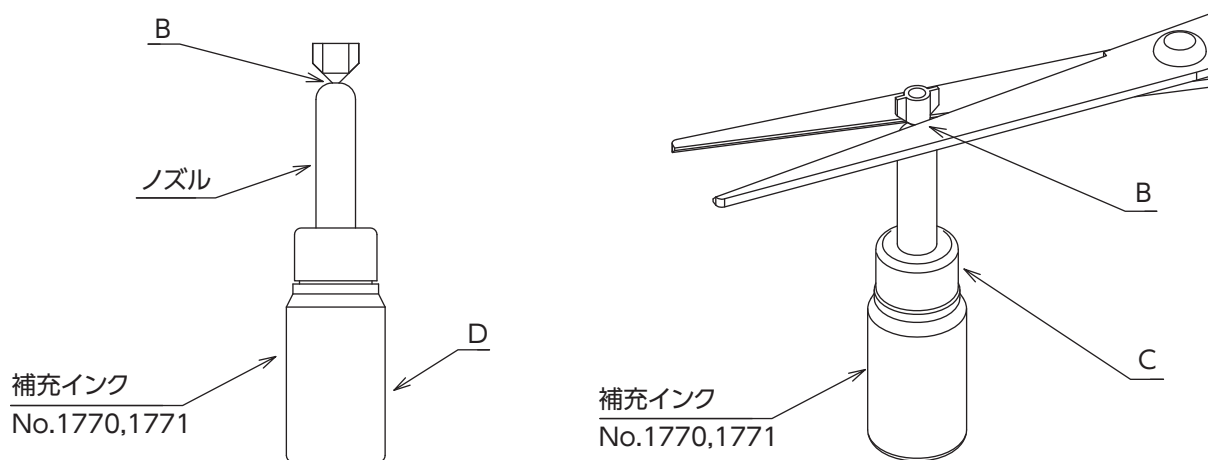
② マーカークヘッドMK93RB (No.2783)

a. マーカークヘッドからキャップとプッシュフェルトを外す。



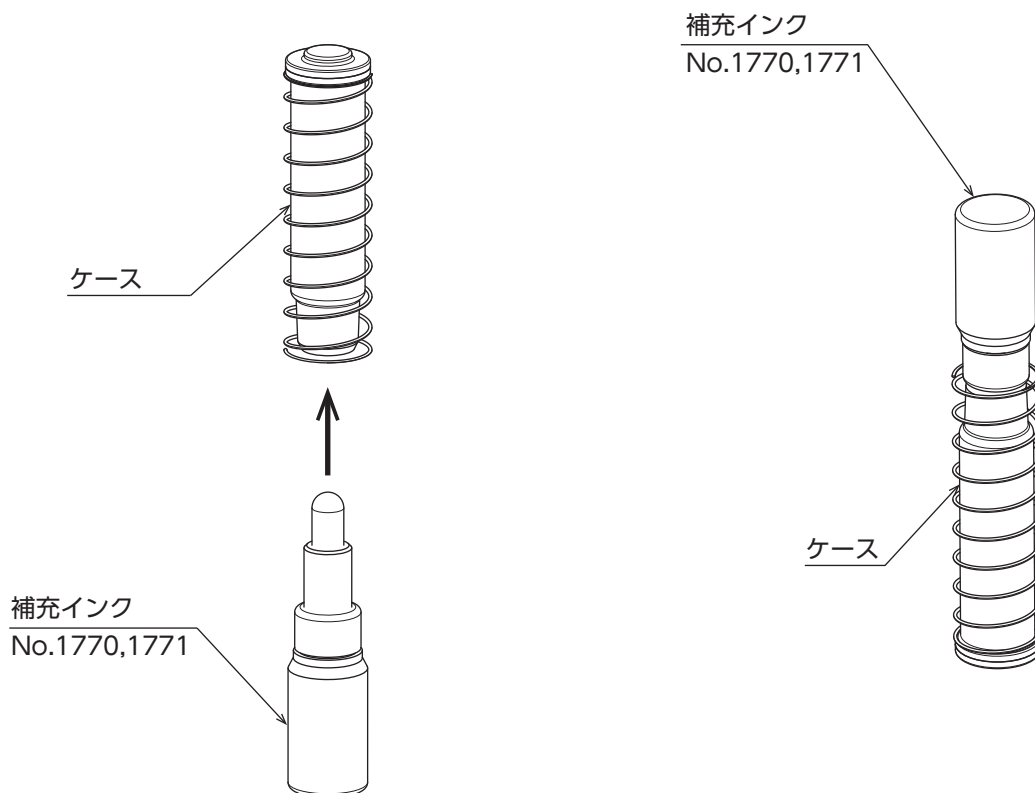
b. 補充インクの先端を切断して下さい。

先端を上向きにしてノズルにインクがたまった場合は指ではじき落とした後、C部を持ってくびれたB部をハサミでゆっくりと切して下さい。



c. 補充インクのケースに差込んでインクを補充して下さい。

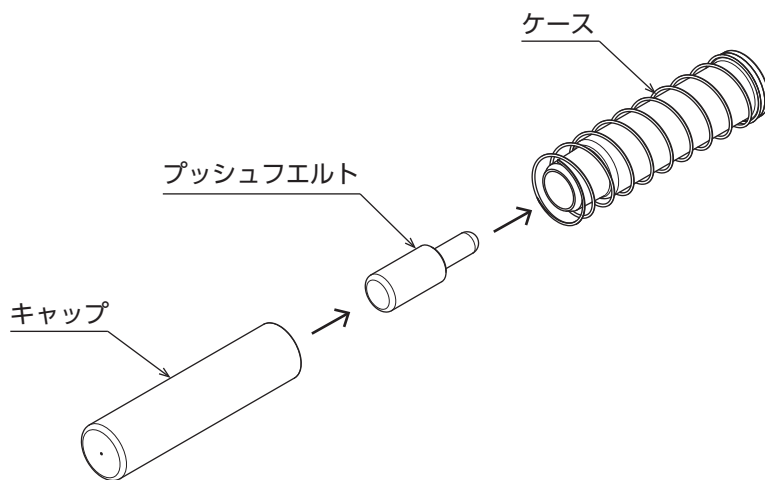
補充インクをゆっくりケースに根元まで差込んで補充インク容器のD部をゆっくりと押さえて1本分のインクを全て補充して下さい。補充後はインクで汚さない様にゆっくりとケースから抜いて下さい。



d. プッシュフェルトとキャップを差込んで下さい。

プッシュフェルトをケースの奥までしっかりと差込んでください。キャップも元通りに取り付けて下さい。取り付け後にプッシュフェルト取り外し工具を外してください。

※ 横向きにして5分間静置後、試し押しをしてからご使用下さい。



注意

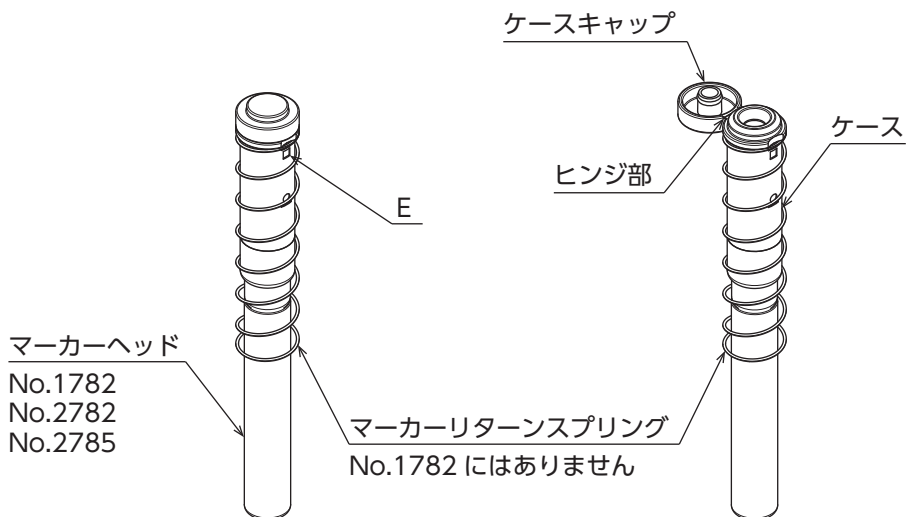
インクが目に入らぬよう十分に注意して下さい。
 インクを多く入れすぎた場合は、ウエスや紙で拭き取って下さい。
 インクが衣服類に飛ばないようにして下さい。
 プッシュフェルトの取り付け方向にご注意ください。
 (P20の注意をご覧下さい)

③ マーカーヘッドMK53WY (No.1782・No.2782)、MK93WY (No.2785)

a. マーカーヘッドのケースキャップを開けてください。

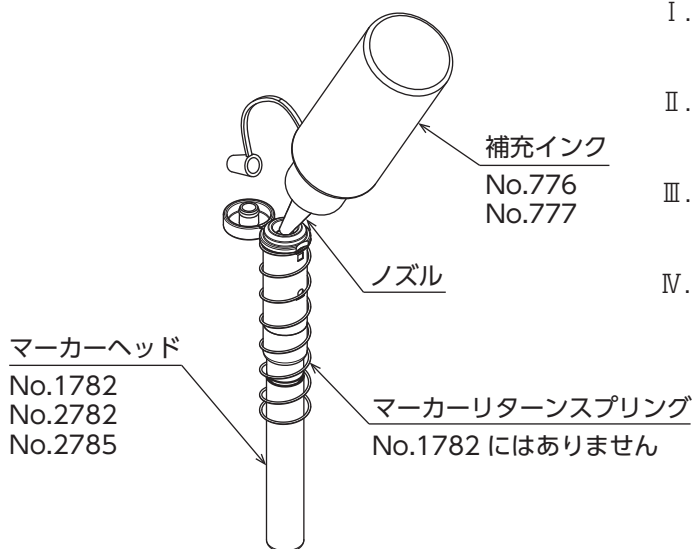
ケースを持って、E部に有る引っ掛け凹みを押してケースキャップを外してください。

※ 必要以上の力を加えるとヒンジ部が破損する場合があります。



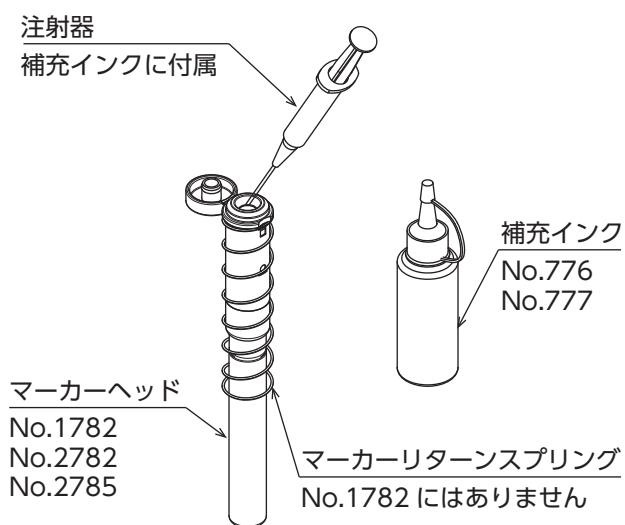
b. インクを補充する

補充インクから直接、インクを補充する場合

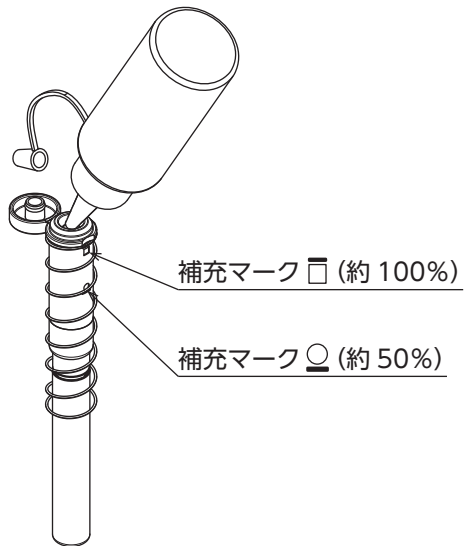


- I. 補充インクのノズルの先端をマーカーヘッドに差込んでインクを補充します。
- II. 補充インクを最初に使用する時は容器中の内蓋を外してから使用して下さい。
- III. 白・黄色のインクは補充前にインクを十分に振ってインクが混ざった状態で使用して下さい。
- IV. 使用後はキャップとしっかりと閉めて下さい。

補充インク付属の注射器を使用する場合



- I. 注射器本体に針を挿入してお使い下さい。
- II. 針を補充液につけて補充容量を吸い上げて下さい。
- III. 補充液は注射器の中に残さず使い切して下さい。(補充液が注射器及び針の中で乾燥すると“めづまり”の原因となります)
- IV. 使用後は溶剤を注射器内に入れて補充液を洗浄して下さい。
- V. 溶剤は洗浄後廃棄し注射器内に残さないで下さい。(注射器本体、針継ぎ目の劣化につながります。)
- VI. 使用後は必ず針にカバーキャップを取付けてください。

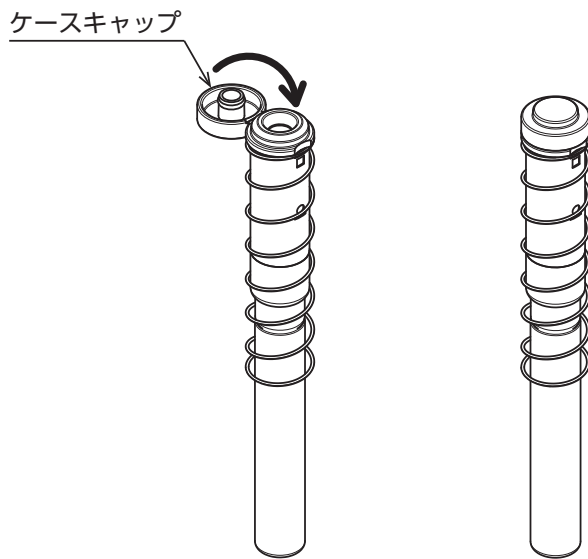


補充量はケース外側に見える凹マーク部が隠れる程度がインク補充の目安です。

□ マーク 最大補充量 (100%) の目安

○ マーク 半分補充量 (50%) の目安

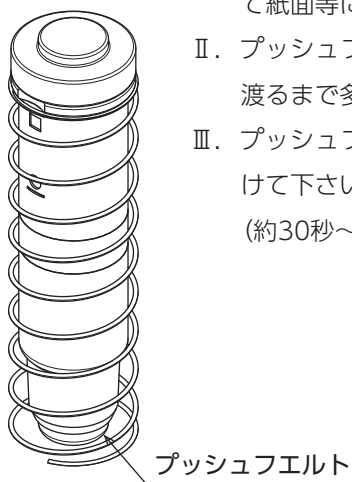
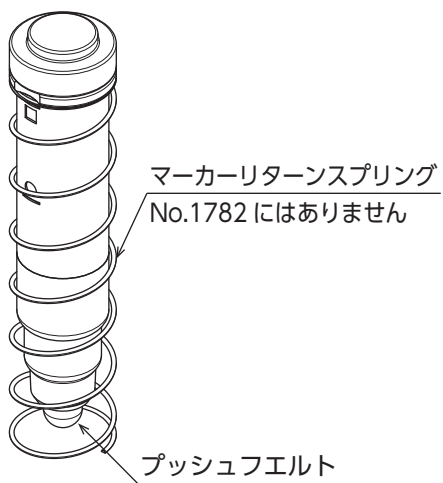
c. キャップを取り付ける



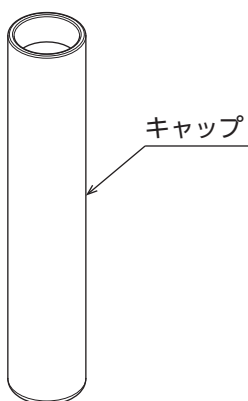
I. ケースキャップを元位置までしっかりとめ込んで下さい。

II. はめ込みが不足するとインク漏れを起こす場合があります。

d.インクの染込み確認



- I. キャップを外し、プッシュフェルトを下向きにして紙面等に押し付けて下さい。
- II. プッシュフェルトが長い為、印面にインクが染み渡るまで多少時間が掛かります。
- III. プッシュフェルトにインクが染み渡るまで押し付けて下さい。
(約30秒～1分程度)



MK53WY
No.1782
No.2782



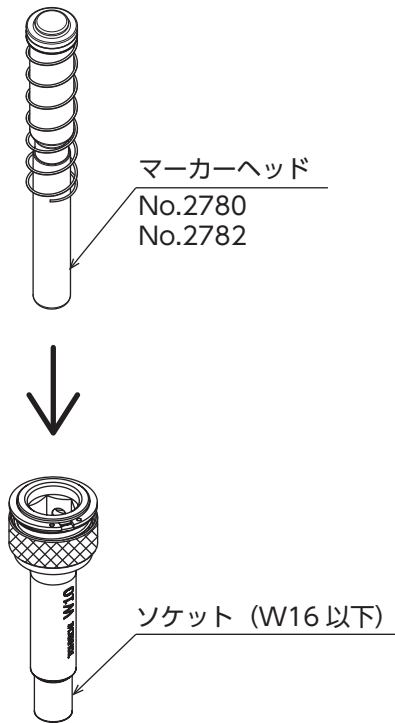
MK93WY
No.2785

! 注意

- インクが目に入らぬよう十分に注意して下さい。
- インクを多く入れすぎた場合は、ウエスや紙で拭き取って下さい。
- インクが衣服類に飛ばないようにして下さい。
- インク補充の際は、付属の手袋をご使用下さい。
(インクが手に付き、汚れる場合があります。)

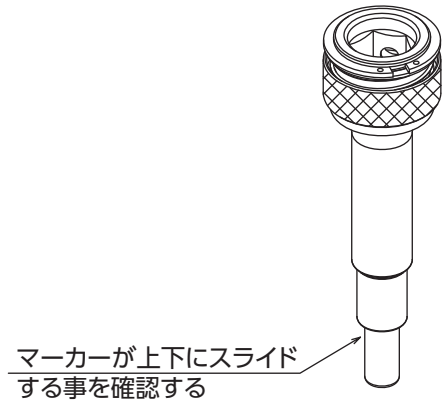
3.3. マーカーのセット方法

1) ソケット口幅W10～W16へのマーカーヘッドのセット方法

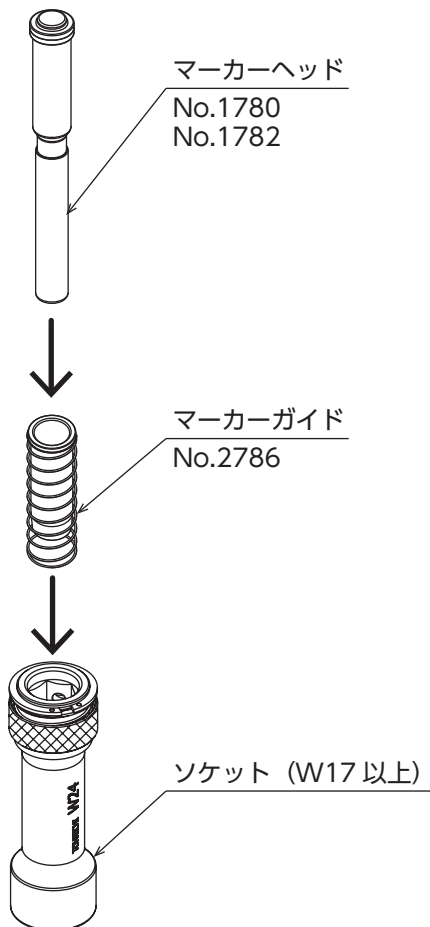


1. マーカーヘッドをソケット上側から挿入して下さい。
2. マーカーヘッドがソケット内でスライドすることを確認する。

※No.2783 MK93RBとNo.2785 MK93WYのマーカーヘッドはW16以下のソケットには使用できません。



2) ソケット口幅W17以上へのマーカーヘッドのセット方法



MK53RB、MK53WYの場合

1. マーカーヘッドをマーカーガイドに左図のように挿入して下さい。
2. マーカーガイドに挿入後、そのままソケットに差し込んで下さい。
3. マーカーヘッドがソケット内でスライドすることを確認する。

※マーカーヘッド (No.1780・No.1782) とマーカーガイド (No.2786) がセットになったマーカーガイドセットもあります。

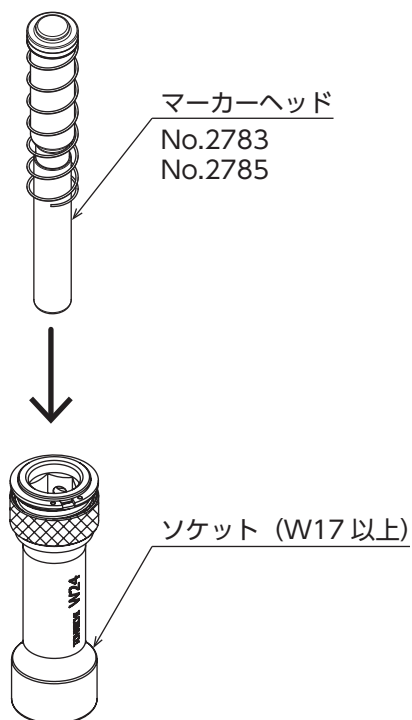
マーカーガイドセット

No.2787 : MK53RB (No.1780) とマーカーガイド (No.2786) のセット。

No.2788 : MK53WY (No.1782) とマーカーガイド (No.2786) のセット。

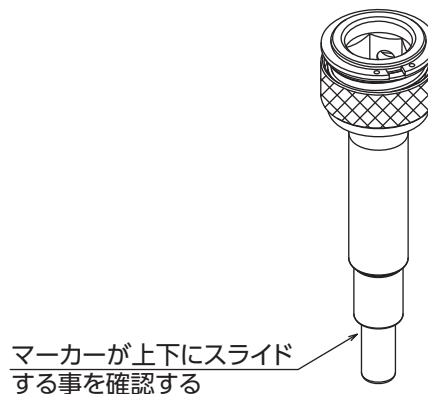
※No.2780 MK53RBとNo.2782 MK53WYのマーカーヘッドはW17以上のソケットには使用できません。





MK93RB、MK93WYの場合

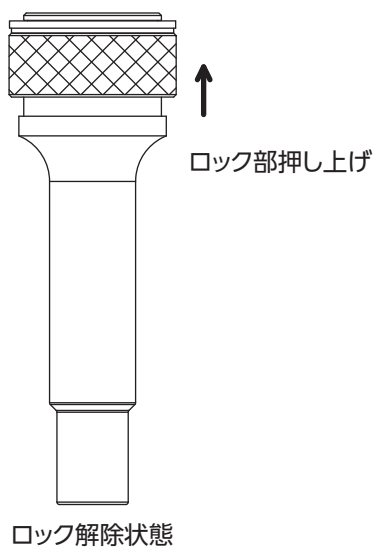
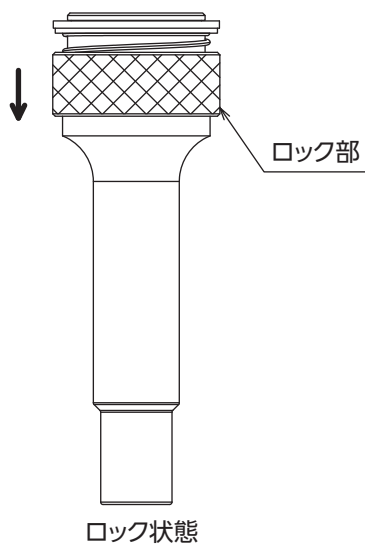
1. マーカーヘッドをソケット上側から挿入して下さい。
2. マーカーヘッドがソケット内でスライドすることを確認する。



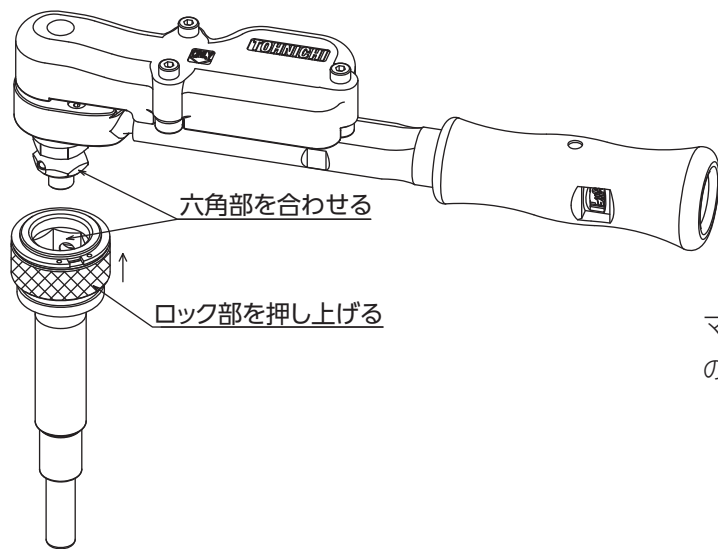
注) マーカーヘッドMK93RB、MK93WYは、W17以上のソケットのみで使用できます。

3.4. ソケット部を本体に取り付ける

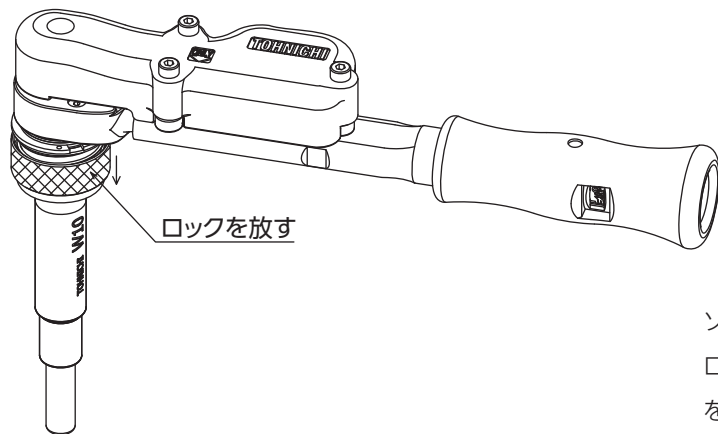
- 1) ソケットのロックを解除する。



2) ソケット部をトルクレンチ本体に取り付ける。



マーカを装填したソケット部を、ソケット部のロックを上押しした状態で勘合させる。



ソケット部とラチェット部を勘合させたら、ロックから指を放し完全に勘合していることを確認する。

3) マーカーのキャップを外す

インクがキャップ内側に付着したままの状態では、キャップが取れないことがあります。無理に取りますと、マーカーやスプリングを破損する恐れがあります。一度ソケット部から取外しねじのようにキャップを外してから、もう一度装填し直して下さい。

4) 締付け作業を行う

⚠ 作業を長時間（30分）以上行わない場合はキャップを付けて下さい。
（マーカーヘッドMK53RB、MK93RBと赤インク（No.1770）、青インク（No.1771）の組み合わせでは、約2週間キャップを付け忘れても乾燥しないようになっていますが、なるべくキャップをつけてください）

● ナットを締付ける場合

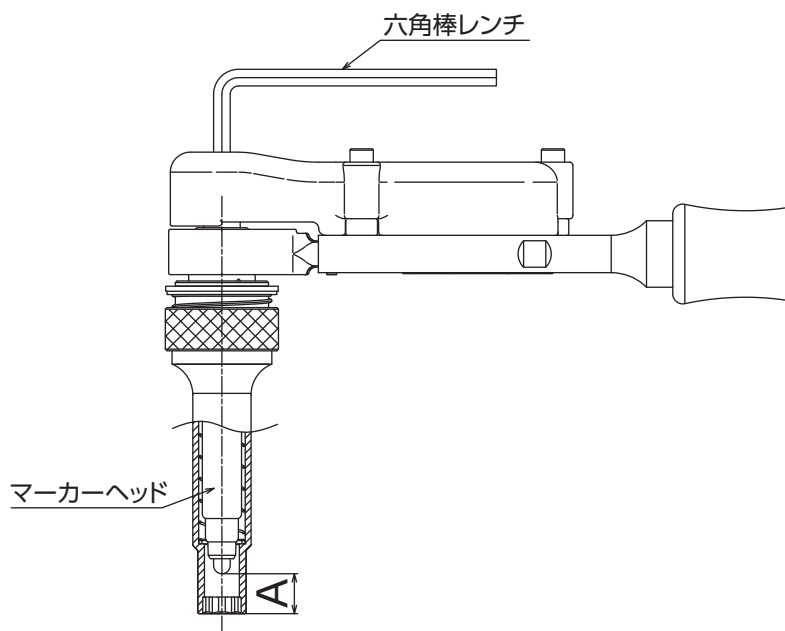
MPQLは出荷時ボルト締め付け用に調整しています。ナットを締付ける場合、ナットからのボルト出シロに合わせて調整してお使い下さい。

3.5. マーカー位置の調整方法

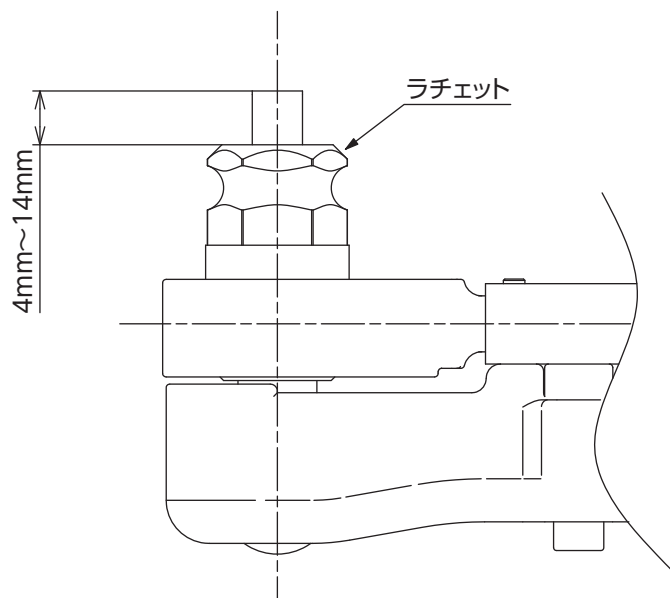
1) ボルトの場合

ボルトの場合は通常購入した状態で使用できます。

- ①ソケット底面からマーカー端面の距離を測定する（A寸法）



- ②六角棒レンチ（付属品）を本体カバーの調整穴に挿し込みA寸法を厚み $a+5\text{mm}$ に調整する
A寸法は右回し（時計回り）で大きくなり、左回し（反時計回り）で短くなります。

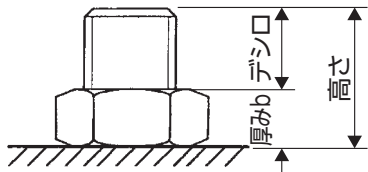


⚠ 注意

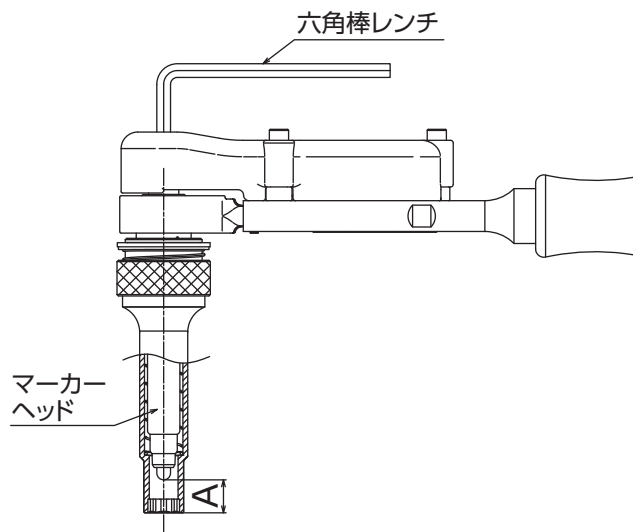
マーカー位置調整時 MPQL/MQL/MQSP本体のラチェット部を上にした状態で、
ラチェット端面とロッドの出代を4mm~14mmの間で調整してください。

2) ナットを締付ける場合

①ナットの厚みとボルトのデシロを測定する
(高さ)



②ソケット底面からマーカージェットの距離を
測定する



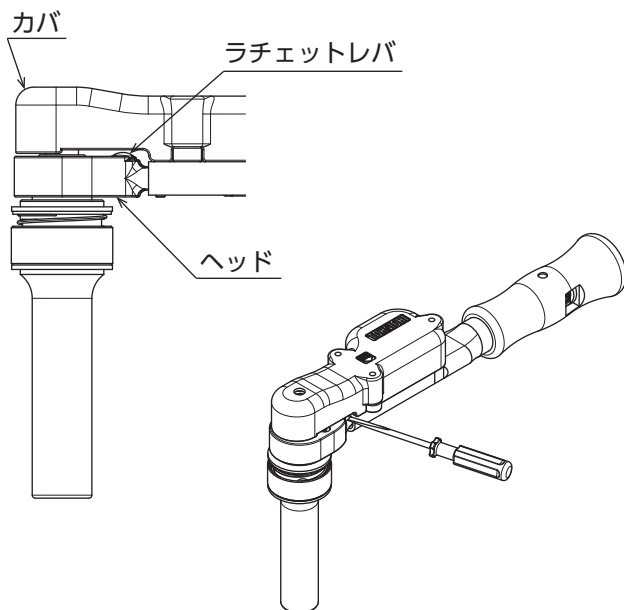
③六角棒レンチ（付属品）を本体カバーの調整穴に挿し込みA寸法を高さ（厚みb+デシロ）+5mmに調整するA寸法は右回し（時計回り）で大きくなり、左回し（反時計回り）で短くなります。

⚠ 注意

作業が終わりましたらキャップを付ける

キャップを付けずにそのまま放置しますと印面が乾燥し印字しなくなります。

3.6. ソケットの噛みこみ解除

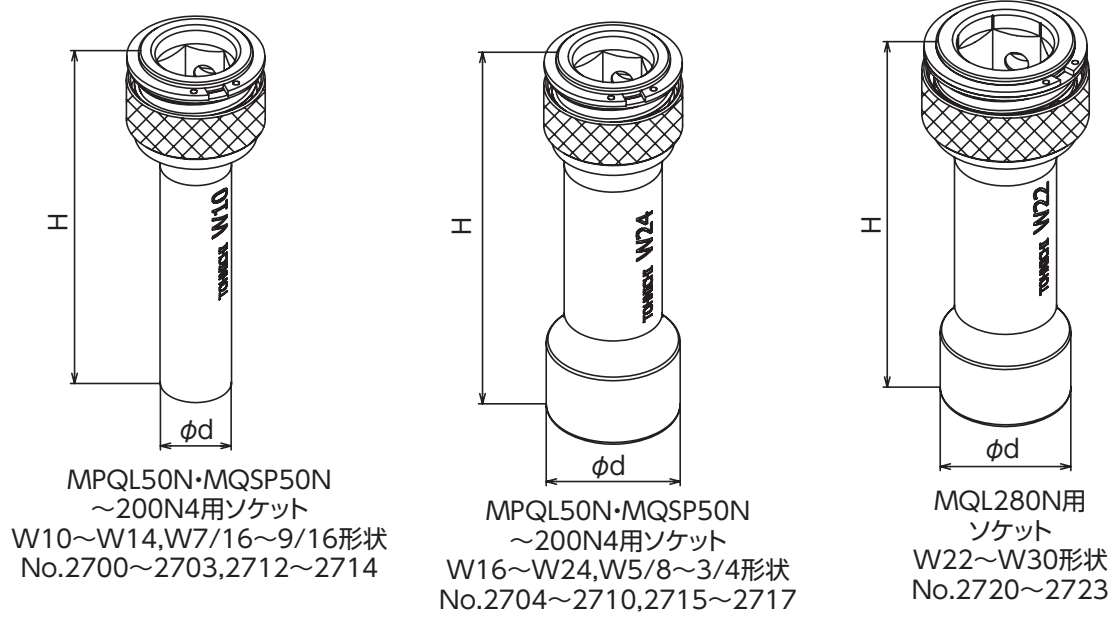


ソケットが外れにくい場合、ヘッドとカバの間から細いドライバなどでラチェットレバを切り替え、ソケットを左方向にねじり外してください。

※ソケット噛みこみ解除後はラチェットレバを元の状態（締付け方向）へ戻してご使用下さい。

4 オプション

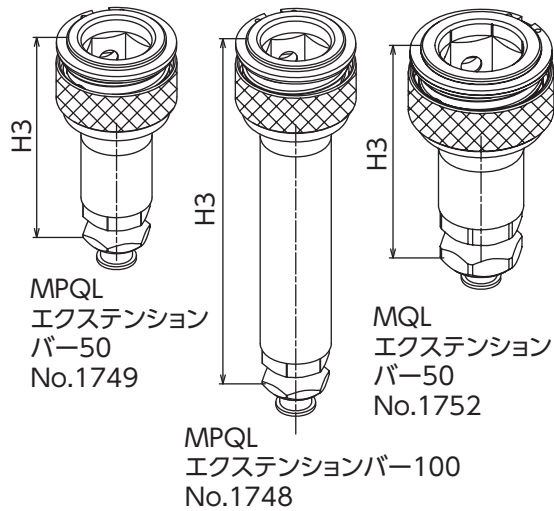
4.1. ソケット



名称	カタログ No.	二面幅 [mm]	Tmax [N・m]	高さH [mm]	外形φd [mm]	適用機種
ソケット 4MH-10	2700	10	25	100	17.5	MPQL 50N・MQSP 50N ~ 200N4
ソケット 4MH-12	2701	12	35		20.5	
ソケット 4MH-13	2702	13	40		21.5	
ソケット 4MH-14	2703	14	60		22.5	
ソケット 4MH-16	2704	16	70		25	
ソケット 4MH-17	2705	17	110		28	
ソケット 4MH-18	2706	18	120	105	29	
ソケット 4MH-19	2707	19	170		30	
ソケット 4MH-22	2709	22	190		32.8	
ソケット 4MH-24	2710	24	200		32	
ソケット 6MH-22	2720	22	255	110	34.5	MQL 280N
ソケット 6MH-24	2721	24	255		38.5	
ソケット 6MH-27	2722	27	255		42	
ソケット 6MH-30	2723	30	280			

名称	カタログ No.	二面幅		Tmax [lbf・in] (N・m)	高さH [mm]	外形φd [mm]	適用機種
		[inch]	[mm]				
ソケット 4MH-7/16	2712	7/16	11.113	300 (35)	100	20	MPQL 50N・MQSP 50N ~ 200N4
ソケット 4MH-1/2	2713	1/2	12.7	400 (45)		21	
ソケット 4MH-9/16	2714	9/16	14.288	700 (80)		23	
ソケット 4MH-5/8	2715	5/8	15.875	800 (90)		25.5	
ソケット 4MH-11/16	2716	11/16	17.463	1000 (120)	105	28.5	
ソケット 4MH-3/4	2717	3/4	19.05	1500 (170)		30	

4.2. エクステンションバー



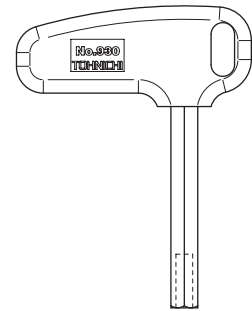
名 称	カタログ No.	適用機種	ソケット延長 長さ[mm]
MPQL エクステンションバー50	1749	MPQL (MQSP) 50N~200N4	50
MPQL エクステンションバー100	1748		100
MQL エクステンションバー50	1752	MQL280N	50

4.3. MQSPアダプタ



名 称	カタログ No.	適用機種	適応テスト
MQSP 3/8-17 アダプタ	817	MPQL50N MQSP50N	DOTE50N3
MQSP 1/2-17 アダプタ	818	MPQL100N4 ~200N4 MQSP100N ~200N	DOTE100N3 DOTE200N3

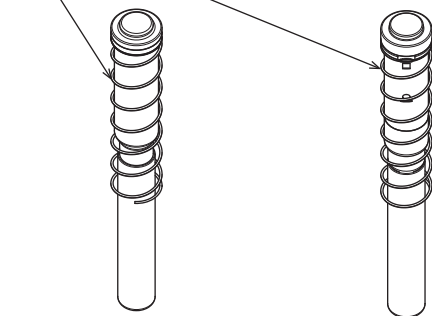
4.4. MQSP用 トルク調整工具



名 称	カタログ No.	適用機種
調整工具	930	MQSP50N~200N

4.5. マーカーヘッド

マーカーリターンズプリング
No.1780 と No.1782 にはありません

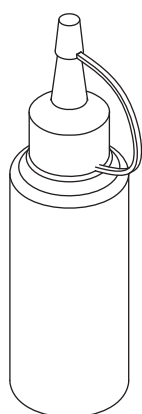


マーカーヘッド
MK53RB No.2780 MK53WY No.2782
MK93RB No.2783 MK93WY No.2785

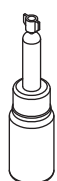
名 称	カタログ No.	適用 インク色	適用ソケット 口幅
マーカーヘッドMK53RB	1780	赤・青	W17以上*
マーカーヘッドMK53WY	1782	白・黄	
マーカーヘッドMK53RB	2780	赤・青	W16以下
マーカーヘッドMK53WY	2782	白・黄	
マーカーヘッドMK93RB	2783	赤・青	W17以上
マーカーヘッドMK93WY	2785	白・黄	

※使用の際には、別途マーカーガイド (No.2786) が必要です。

4.6. 補充インク、溶剤



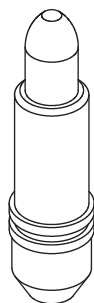
補充インク
白 No.776, 黄 No.777
溶剤 No.794



補充インク
赤 No.1770
青 No.1771

名称	カタログ No.	色
補充インクR	1770	赤
補充インクB	1771	青
補充インクW	776	白
補充インクY	777	黄
溶剤	794	白・黄用

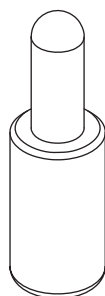
4.7. プッシュフェルト



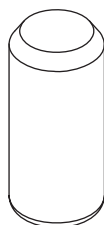
No.1775



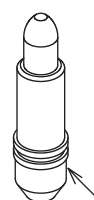
No.775



No.1776



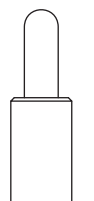
No.1777



MK53RB用 (No.1775)
プッシュフェルト取り外し工具
を嵌める溝がある方がマーキング面です



MK53WY用 (No.775)
丸い方がマーキング面です



MK93RB用 (No.1776)
軸径の太い方がマーキング面です



MK93WY用 (No.1777)
角の丸い方がマーキング面です

名称	カタログ No.	適用 インク色
MK53RB用プッシュフェルト	1775	赤・青
MK53WY用プッシュフェルト	775	白・黄
MK93RB用プッシュフェルト	1776	赤・青
MK93WY用プッシュフェルト	1777	白・黄



注意

プッシュフェルトのマーキング面にご注意ください。
プッシュフェルトの反転取り付けは出来ません。

4.8. マーカーガイド

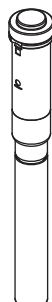
※W17以上のソケットでφ5のマーカーヘッドを使用する時に必要です。



マーカーガイド
No.2786



マーカーヘッド
MK53RB No.1780



マーカーヘッド
MK53WY No.1782

名称	カタログ No.	適用 インク色
マーカーガイド	2786	—
MK53RBマーカーガイドセット	2787	赤・青
MK53WYマーカーガイドセット	2788	白・黄

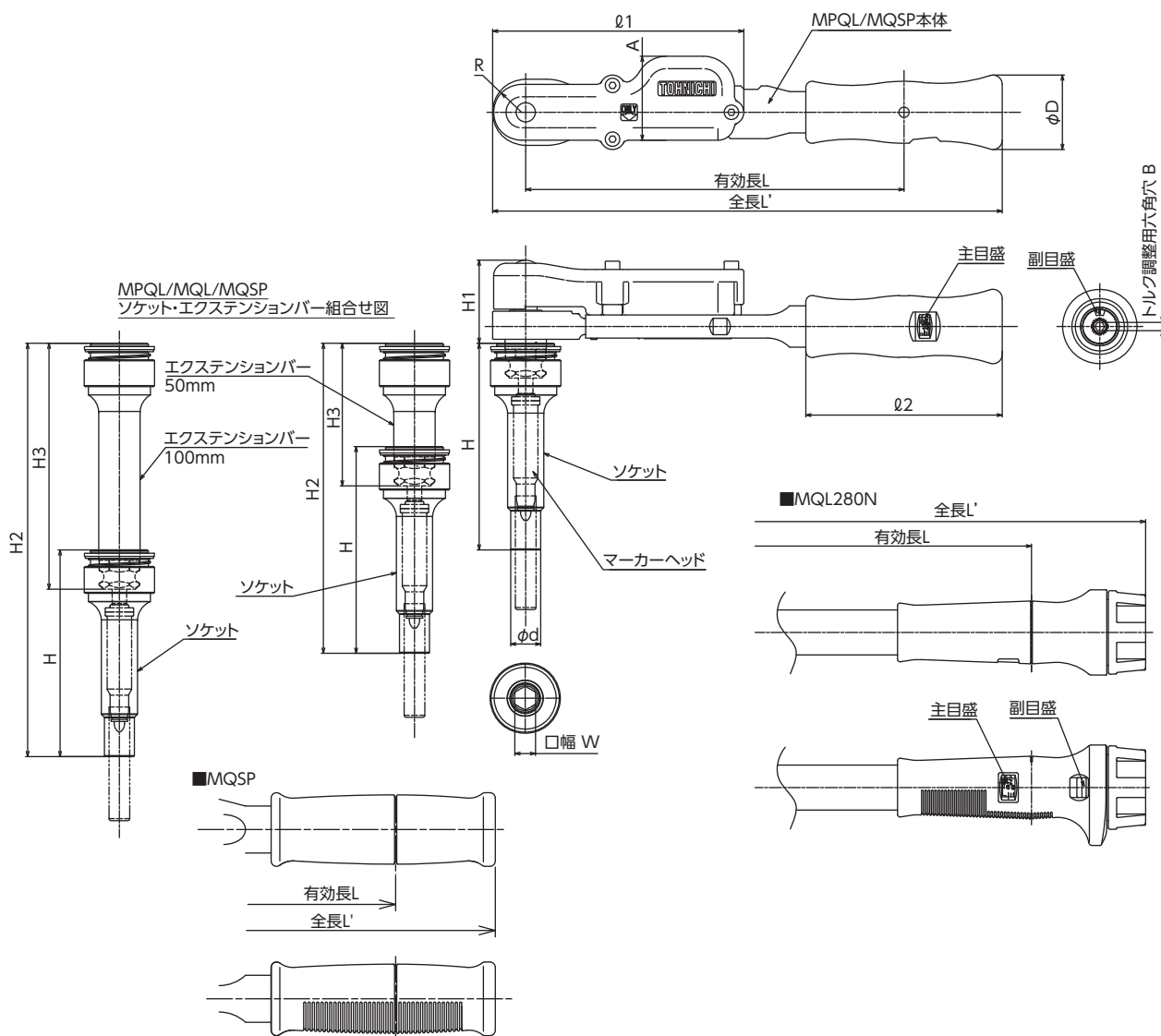
※1: マーカーガイドセットはマーカーガイド (2786) とマーカーヘッド (1780又は1782) がセットになっています。

※2: マーカーガイドセット内のマーカーヘッドにインクは充填されていません。別途補充インクをお求めください。

※3: マーカーガイド (2786) はNo.1780又は1782以外のマーカーヘッドには使用できません。

5 仕様

■MPQL50N~200N4, MQSP50N~200N



精度±3%

型式	トルク調整範囲 [N・m]		負荷 方向	最大 トルク時 の手力P [N]	有効長 [mm]	全長 [mm]	寸法 [mm]						重量約 [kg]			
	最小~最大	1目盛					頭部形状		本体							
							R	H ₁	ℓ ₁	A	D	ℓ ₂		B		
MPQL50N	10~50	0.5	↻	274	183	246	16	40.6	121	41	36	95	4	0.7		
MPQL100N4	20~100	1		388	252	320	17	43	153		40.6	37.7		100	4	1
MPQL140N	30~140			443	316	385	18.75	45.1				183				44.2
MPQL200N4	40~200	2		500	397.5	468	20	46	45.2	51.5	—		—	4	1.8	
MQL280N	40~280			467	600	692	22.5	48.5				40.6			27	75
MQSP50N	10~50	—		281	178	240	16	40.6	121	41	34		89	4		
MQSP100N	20~100			398	251	315	17	43	153		34	107	4		1	
MQSP140N	30~140			444	315	380	18.75	45.1							183	27
MQSP200N	40~200			500	400	465	20	46	40.6	27	75	4	1.8			

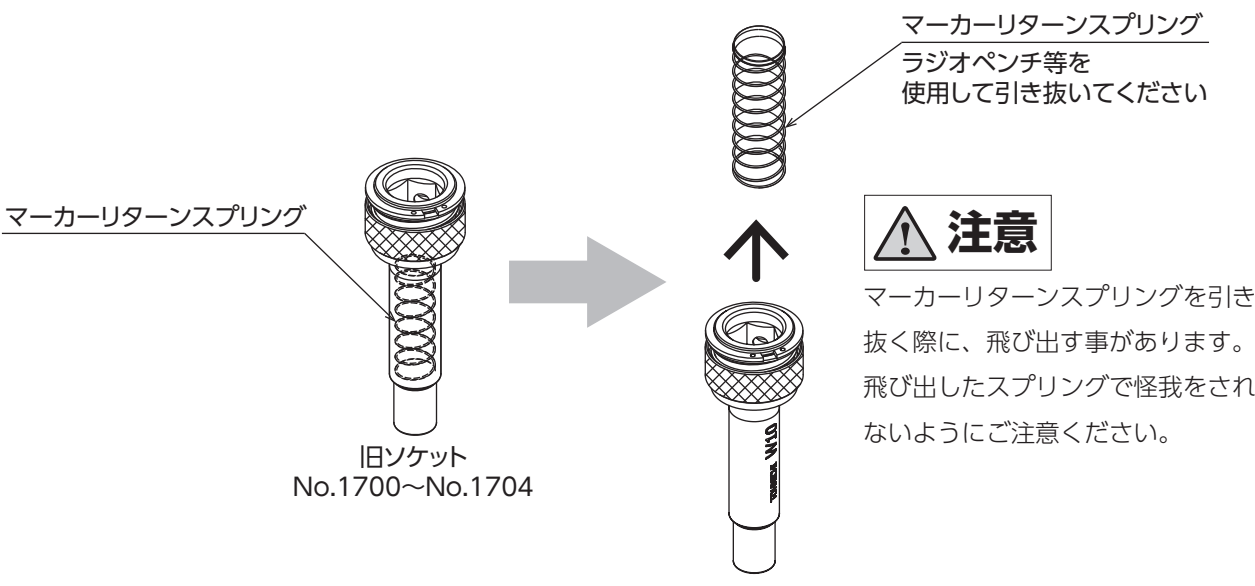
6 旧ソケットと旧マーカークヘッドについて

2016年5月21日よりマーキングトルクレンチに使用するソケットとマーカークヘッドをモデルチェンジしました。それに伴い、旧ソケット (No.1700~1723) と旧マーカークヘッド (No.1783・1785) はそのままでは使用できません。旧ソケットと旧マーカークヘッドを使用する場合は、下記をご参照ください。

6.1. 旧ソケットで新マーカークヘッド (No.2780・2782・2783・2785) をご使用になる場合

1) 二面幅10~16mmの旧ソケット (No.1700~1704, No.1712~No.1715) にΦ5のマーカークヘッド MK53RB (No.2780) 又はMK53WY (No.2782) を使用する場合。

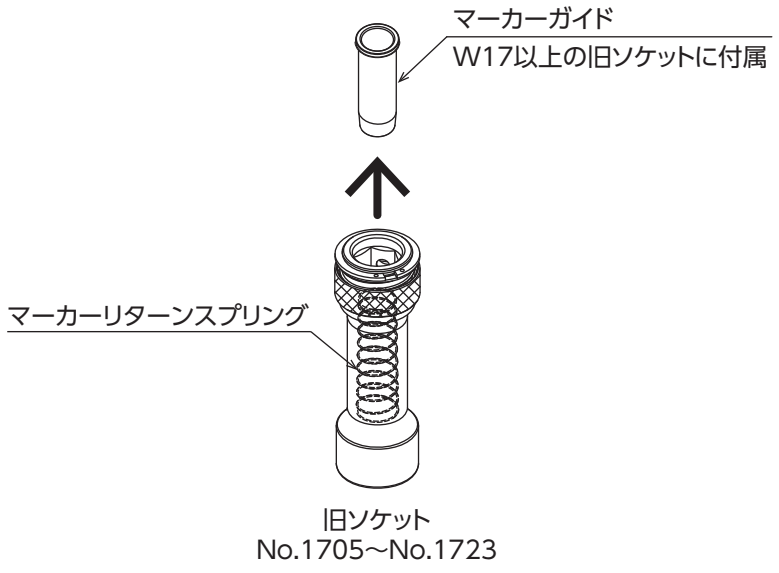
①内蔵しているマーカークリターンズpringを引き抜く。



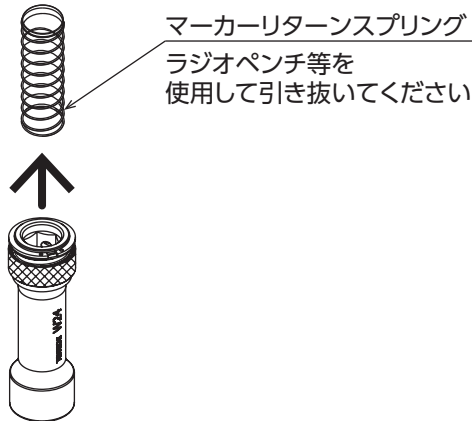
②取扱説明書P13、マーカークのセット方法に従ってソケットにマーカークをセットしてください。

2) 二面幅17~30mmの旧ソケット (No.1705~1723, No.1716~No.1717) にΦ9のマーカークヘッド MK93RB (No.2783) 又はMK93WY (No.2785) を使用する場合。

①ソケット内蔵のマーカークガイドを引き抜く。



②内蔵しているマーカーターンスプリングを引き抜く



マーカーターンスプリングを引き抜く際に、飛び出す事があります。飛び出したスプリングで怪我をされないようご注意ください。

③取扱説明書P13、マーカのセット方法に従ってソケットにマーカークをセットしてください。

6.2. 新ソケットで旧マーカークヘッド (No.1780・1782・1783・1785) をご使用になる場合

1) No.1780 MK53RBとNo.1782 MK53WYはW17以上のソケットに使用できます。

詳しくは取扱説明書P13をご参照ください。尚、W16以下の新ソケット (No.2700～No.2704、No.2712～No.2715) を購入し、マーカークヘッドのΦ5用MK53RB (No.1780) やMK53WY (No.1782) をお持ちの場合、新マーカークヘッド (No.2780/No.2782) に無償で交換いたします。

詳しくは東日製作所までお問い合わせください。

2) No.1783 MK93RB と No.1785 MK93WY は使用できません。W17 以上の新ソケット (No.2705～No.2723、No.2716～No.2717) をご購入し、旧マーカークヘッドのΦ9用MK93RB (No.1783) やMK93WY (No.1785) をお持ちの場合、新マーカークヘッド (No.2783・No.2785) に無償で交換いたします。

詳しくは東日製作所までお問い合わせください。

6.3. 旧ソケットで旧マーカークヘッド (No.1780・1782・1783・1785) をご使用になる場合

1) 問題ありませんので、そのままご使用ください。

